

2017 ふれ愛商品券販売開始!!



毎年好評をいただいている「葦崎市プレミアムふれ愛商品券」を今年度も販売します。
1セット 10,000 円のご購入で、11,000 円分のお買い物ができます。
また、すべての取扱加盟店舗・事業所で使用できる共通券と、中小加盟店舗・事業所のみで使用できる専用券の組み合わせで発売します。



【葦崎市プレミアムふれ愛商品券】

- 発売日 7月3日(月) 午前9時～
- 有効期限 平成30年1月31日(水)
- 販売場所 葦崎市商工会
市役所2階商工観光課
スーパーやまと(富士見店・葦崎本町店・移動販売車)
- セット内容
 - ・共通券 1,000円×4枚
 - ※すべての取扱加盟店舗・事業所でご利用できます。
 - ・専用券 1,000円×6枚
 - 500円×2枚
 - ※大型店ではご利用できません。
- 販売セット数 5,000セット
◎1世帯10セット(10万円)まで購入できます。
- 問い合わせ 葦崎市商工会 ☎22-2204
商工観光課 商工労政担当(内線215・216)

『山彦乙女』は、江戸の新御
筆、安倍半之助は甲府勤番中
に失踪した叔父の遺品を調
べるうち、叔父を狂気へと導
いた武田家の莫大な遺産を
めぐる「かんば沢」の妖しい
謎のとりことなり、自らもま
た甲州へと足を向けます。そ
こで巻き起こる奇怪な出来
事が臨場感たつぷりに描か
れています。小説の中には、
武田八幡宮、甘利山や法王山
(鳳凰三山)などが登場し、ま
さに葦崎を舞台にした小説
といえるでしょう。

『山彦乙女』を通じて葦崎
の魅力を全国に伝えた人物、
山本周五郎が亡くなった昭
和42年2月24日から、ちよう
ど50年という節目の年とな
ります。小説を読みながら、
周五郎の描いた舞台を散策
してみたいいかがでしょう
か。

『山彦乙女』という葦崎の甘
利山麓を舞台にした小説
をご存知でしょうか。作者は
山本周五郎で、実は彼の本籍地
は葦崎市大草町若尾です。
山本周五郎という名前はペ
ンネームで、本名は清水三十六
(とむ)です。明治36年6月22
日に、大月市初狩町下初狩で父
清水逸太郎、母とくの長男とし
て誕生しました。ちなみに、名
前の三十六は誕生日からつけ
られたそうです。



山本周五郎の碑(平和観音附近)

葦崎を小説の舞台に

山本周五郎

にらさき遺産めぐり 第24回



にらみん

葦崎市ふるさと偉人資料
館では、7月1日から9月
24日まで「没後50年山本周五
郎展」を開催します。開催中
の企画展と併せてご覧ください。
(文化財担当 関岡)

市の人口	6月1日現在	(前月比)
男	15,005人(うち外国人213人)	13人増
女	15,169人(うち外国人277人)	2人減
計	30,174人(うち外国人490人)	11人増
世帯数	12,620世帯	24世帯増

●国民健康保険より

6月に葦崎市国民健康保険で支払った額(保険者負担額)は、144,314,452円(前年同月比8.34%減)で、1人あたりの保険者負担額は、19,884円(前年同月比2.57%減)でした。引き続き健康に気をつけ医療費の節約にご協力ください。